

墨田区議会 Liberal Democratic Party

自由民主党だより

2020 10 Oct.

■発行/墨田区議会自由民主党 (墨田区吾妻橋1-23-20) **ホームページもチェック!** <http://jimin-sumida.jp/>

■発行責任者/しもむら 緑 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

新型コロナウイルス対策に関して、自民党の提案が**実現!**

自民党では、この間、新型コロナウイルス感染症により影響を受けていらっしゃる区民の皆様の実践的なお声を伺ってまいりました。感染症への医療的な対応とともに、経済の立て直しも喫緊の課題となっています。

自民党は、この度、国から交付される「**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金**」の用途について、山本区長へ要望書を提出しました。

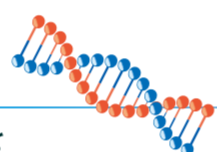
実現 医療機関への支援金給付

医療専門職向けの多様な防護具の備蓄をはじめ、地域医療の基盤体制の維持を目的とした医療機関等への支援金給付などを実現しました。



実現 全国が注目する PCR 検査の拡充

新たに8月26日から、かかりつけ医によって直接予約・紹介が可能なPCR検査センターを開設しました。効果的な検査体制と検査の拡充を展開中です。



実現 プレミアム付き消費喚起策

QRコード決済「PayPay」で最大30%が後日還元されるポイント還元事業(10月1日~31日)を実施中です。最大13億円の消費効果が期待され、区内個人店の大きな支援策となります。



実現 保育料返還を認可外まで拡充

保育無償化の対象となっていない課税世帯(0~2歳)で認可外保育施設を利用している場合にも、一定の条件の下、保育料の返還が決定しました。



実現 国・都・区すべてを網羅した情報を提供

「コロナなんでも相談室」を開設し、各種支援策や健康不安について、区民の皆様からのお問合せに職員が直接対応しました。



その他のご要望についても、現在検討、調整が進んでいます。自民党は、これからも皆様の声を行政に届け、実現してまいります。ご要望をぜひお寄せください。

墨田区内の各種団体の皆様と政策・予算等意見交換会を実施

平成28年より行っている、**墨田区内の各種団体の皆様との政策・予算等意見交換会を、今年も8月中旬より開催しました。**今年約30団体に及ぶ商工業、幼児教育・子育て、土業等専門職、医療・介護等、幅広い分野の皆様にご参加いただき、区政の課題や各団体のご要望等について意見交換を行いました。特に、新型コロナウイルス感染症拡大について、それぞれの団体や現場への影響をお聞かせいただくとともに、コロナ禍における区政へのご協力のご提案も数多くいただきまして、大変ありがたく思っております。

また、昨年の台風19号の全国的な被災状況を踏まえ、風水害を中心とした災害対策に関するご提案・ご要望や、それぞれの団体について継続して課題となっている事柄について活発に議論致しました。意見交換会における団体の皆様方のご意見を、今後行われる決算審査、来年度予算への要望、予算審議に大いに参考にさせていただきます、区民の福祉の増進に役立たせていただきます。

ご参加いただきました各種団体の皆様方に改めて感謝申し上げます。



今号のラム 日常を取り戻そう

新型コロナウイルスに関して、マスクの着用により、おおよその感染が防げるのがわかってきました。

この間、在宅で居続けることにより、心身の健康が害される事例や、経済への影響が懸念される事態も見受けられます。「ゼロ・リスク」社会はもともと存在しないため、感染傾向は落ち着いている状況では、いかに日常を取り戻すかが重要となってきます。

自民党では、修学旅行や運動会等、子どもたちの思い出に残るもの、また教育上有意義なものについては、その実施を強く求めてきました。その結果、23区内でほとんどの区が実施を中止する中、修学旅行や運動会は、一定の条件があるものの、実施することができました。来年の成人式も二部制にして実施する方向です。

これからは、必要以上に恐れず、感染防止策を第一義に考えながらも、日常を取り戻し、心身の健康や経済活動の復活を目指し、区民の皆様と知恵を絞っていくべきだと考えています。

中止ありきではなく、どのようにしたら実施することができるのか、政治の役割が重要だと考えています。ぜひご質問をお寄せください。



樋口敏郎
活力と笑顔のあふれるまち「すみだ」

- 墨田区議会議長
- 区民福祉委員会
- ひきこもり対策特別委員会

墨田区八広 3-6-3
090-6043-3869



沖山 仁
夢を求めて、生きる事の楽しさを!

- 企画総務委員会 委員長
- 災害対策特別委員会

墨田区京島 1-52-11
03-3617-6558



田中 邦友
夢と希望の持てる墨田区を次の世代へ!

- 区民福祉委員会
- ひきこもり対策特別委員会

墨田区八広 1-39-17
03-3616-7014



木内 清
清心・実行・実績
清心動

- 副幹事長・議会運営委員会
- 子ども文教委員会 委員長
- 町会・自治会振興特別委員会
- 議会改革特別委員会

墨田区亀沢 2-12-3-501 鷺島ビル
090-3060-8434



しもむら 緑
皆様の安全と、教育に力を入れていきます!

- 幹事長・議会運営委員会 委員長
- 企画総務委員会
- 町会・自治会振興特別委員会

墨田区亀沢 4-22-8-608
080-2443-0212



佐藤 篤
自己実現できる墨田区へ

- 墨田区議会副議長
- 子ども文教委員会
- 町会・自治会振興特別委員会
- 議会改革特別委員会

墨田区京島 3-18-4
090-8567-8293



加藤 拓
今期もよろしくお願います。

- 政務調査部会長
- 地域産業都市委員会
- 災害対策特別委員会
- 議会改革特別委員会 委員長

墨田区緑 1-2-12-501
090-8510-6489



福田 はるみ
スマイルすみだ
笑う門に福、春来る

- 広報部会長
- 子ども文教委員会
- 町会・自治会振興特別委員会 委員長

墨田区立花 3-2-6-302
03-3618-6125



藤崎 こうき
やる気・元気・藤崎こうき

- 企画総務委員会
- 町会・自治会振興特別委員会
- 決算特別委員会 副委員長

墨田区向島 5-42-3
080-4354-1602



たきざわ 正宣
人にやさしい街 墨田へ

- 地域産業都市委員会
- 災害対策特別委員会 副委員長
- 議会改革特別委員会

墨田区墨田 5-34-11
03-5247-5202



坂井 ひであき
子供の笑顔のたえない街を目指して行動

- 副幹事長・議会運営委員会
- 区民福祉委員会 副委員長
- ひきこもり対策特別委員会

墨田区石原 3-16-1
090-2654-5478



坂井 ユカコ
区民自線の素直で確かな行動力で

- 副幹事長・議会運営委員会
- 地域産業都市委員会 副委員長
- 災害対策特別委員会
- 決算特別委員会 委員長

墨田区東駒形 2-2-4
090-3617-4313



かんだす なお
墨田区を日本一豊かな街へ

- 子ども文教委員会
- ひきこもり対策特別委員会

墨田区横川 2-18-2-402
080-9469-1673

議員紹介

お気軽にご意見をお寄せください

墨田区議会自由民主党



代表質問



墨田区議会議員 坂井ひであき

新型コロナウイルス感染症による財政への影響は

問 新型コロナウイルスの感染症拡大により経済活動が停滞しており、今後が見通せない状況である。平成20年のリーマンショックは、日本経済にも多大な影響があり、本区の平成21年度の財政調整交付金は、予算額よりも50億円の減収となった。この傾向は平成23年度まで続き、2年間で約100億円の基金の取り崩しを行った。今回の新型コロナウイルスの影響はリーマンショック時以上と予想され、本区の財政調整交付金の大幅減少を懸念するが、①現時点での減収見込みは。大変厳しい歳入環境の中、必須の行政需要に対応しなくてはならない状況だが、②令和3年度予算編成では、予算規模を維持するのか、縮小するのか方針を伺う。③維持するならば、基金の取り崩し、区債残高目標値の考え方、財源確保等はどう考えるのか。

答 ①来年度の交付金の見込みは現時点では明らかにっていないが、今後行われる令和3年度に向けた財調協議の動向を見極めて、予算編成にあたる。財政調整交付金は、リーマンショック時の状況を考慮すると、大幅な減収が予想され、特別区民税も収入動向が不透明であり、極めて厳しい財政状況が今後数年継続すると想定される。②財源対策として、基金等の活用のみでは減収分の補填に対応できないことも考えられ、予算規模は一定程度の圧縮が必要と考える。一方で、区民の命を

守る施策等は、時機を逸することなく講じる必要がある。来年度予算編成に当たっては、歳出額の圧縮を図り、新型コロナウイルス対策や喫緊の行政需要に対し、優先的に財源を振り向け、厳しい財政状況の中でも持続可能な行財政運営につながる予算編成としていく。なお、③財政調整基金や区債の活用については、現時点で目標金額等は申し上げられないが、数年後の財政負担も考慮しながら、予算編成の中で検討していく。

生活必須職種従事者へのガイドライン作成等について

問 ①新型コロナウイルス感染拡大の段階に応じた対策が必要であり、早急に墨田区事業継続計画の見直しが必要と考えるがどうか。②誰もが新型コロナウイルスに感染してもおかしくない状況であり、インフルエンザとの同時流行にも注意しなければならない。生活必須職種従事者への新型コロナウイルスに対応する指導方針であるガイドラインを示すべきか。

答 ①既存BCP※を見直し、新型コロナウイルスに対応した暫定版を今年度中に作成する予定である。②国の方針等で各関係団体はガイドラインを作成することとされている。一部業種について区ホームページで紹介しており、各部署では、必要な支援等を行っている。今後、も状況に応じ対応し、各業種別のガイドラインを周知していく。

※事業継続計画

中止となった小・中学校での課外学習の代替案について

問 中学校の職場体験や小学校の校外学習等が「三密」を避けるため例年通り行えない状況である。①職場体験の代替の効果的な取組みを各学校で共有し、活用できるようにしてほしい。②例年複数校が見学先としている施設等には、現場負担を軽減するため、教育委員会がある程度の下交渉を行うてはどうか。

答 ①今年度は新型コロナウイルス感染防止のため職場体験は中止した。その代替として、多くの学校がインターネット等を活用した調べ学習を計画している。効果的な取組みは各学校間で情報共有していく。②コロナ禍における教員の負担軽減を図るため、校長会とも連携して、各学校からの意向に沿った対応を行うよう、関連施設と交渉していく。

水害時の防災拠点会議のあり方について

問 40ヶ所となる水害時避難場所の行政側の人員配置計画と、次の災害に備えた区の考え方は。

答 水害時避難場所に配置する職員数は一か所あたり5名を予定している。課題の解決をはじめ、備蓄物資の充実等、引続き拠点会議の方々と連携して対策を強化していく。

高規格堤防の実現について

問 都市計画マスタープランに「スーパー堤防の整備により、親水性と安全性を確保するとともに、周辺市街地との一体的な整備を推進する」「高規格堤防の推進と堤防強化対策を実施するほか、内部河川では護岸の耐震化や治水機能の向上を促進します」と区が主体となっていく姿勢が見られます。一方で、基本計画では「高規格堤防への改善を図るよう国や都に働きかける」となっているが、本区としての統一的な見解を示してほしい。また、基本計画において、「国や都に働きかける」とあるが、具体的にどのような働きかけを行ったのか。

子ども文教委員会



かんだすなお 委員、福田はるみ 委員、木内清 委員長、佐藤篤 委員

GIGA スクール構想の推進

国は「GIGAスクール構想(※)」に基づき、令和3年度以降にタブレット端末を児童・生徒1人に対し1台を配布する政策を打ち出しています。自民党の求めに応じ、墨田区は前倒して、令和2年12月末までに児童・生徒へのタブレット端末の配付と小・中学校内のWiFi環境整備を完了させ、令和3年1月から本格稼働を始める予定です。また、校長・副校長・教員・教育委員会で構成される検討部会を開催し、授業改善検討・教材検討・ハード整備運用検討等を研究し進めていきます。

※GIGAは、「Global and Innovation Gateway for ALL」の略称です。

保育士・幼稚園教諭の人材確保

子育て世代の区民の皆様のために、保育士・幼稚園教諭の人材確保が喫緊の課題となっています。両資格保有者は保育士を選ぶ傾向にあり、幼稚園教諭のなり手不足がより深刻です。管轄官庁が厚労省と文科省と異なることも、構造的問題の一因です。自民党は、待遇改善等の施策で人材を確保するよう求めました。

企画総務委員会



藤崎こうき 委員、沖山仁 委員長、しもむら緑 委員

曳舟文化センター大規模改修工事について提案

曳舟文化センターの大規模改修について、区民の皆様が利用する交通手段として一番多いのが自転車です。しかし、入り口の駐輪場は段差があり、地下駐輪場は勾配が急である等、現情のままでは使い勝手が悪いので、利便性の向上を含めた駐輪場の確保を要望しました。

また、机や椅子等の備品が経年劣化しているため、備品の入替も併せて要望しました。

墨田区公式ウェブサイトについて提案

区のホームページのリニューアルについて、昨年の台風19号の際、アクセスが集中したためにサーバーがダウンしてしまったことを踏まえて、有事の際等、重要な情報を発信してもサーバーがダウンしないのか、また、簡易版ホームページに迅速に変更できるかについて確認しました。また、安心・安全メールとの連動についても提案しました。

令和2年度常任委員会 TOPICS

地域産業都市委員会



たきざわ正宜 委員、坂井ユカコ 副委員長、加藤拓 委員

区内商店への10万円補助 期間延長！

墨田区では、感染拡大予防に取り組む区内商店等への支援(感染症予防対策に要した備品、消耗品、内装、設備工事等の経費に対して、10万円を上限に補助)を期間限定で実施しています。申請期間は9月30日まででしたが、申請していない商店も多くみられました。

自民党から期間延長を要望し、申請期間が10月30日まで、補助対象期間が12月31日まで延長になりました。まだ間に合いますので、ぜひお気軽にお問合せください。

お問合せ先：080-4128-4767 墨田区商店街連合会

子育て世帯定住促進支援事業の拡充

墨田区では、子育て世帯の方が墨田区に長く住み続けられるよう、住宅の購入費や民間賃貸住宅への転居費を助成していますが、平成30年度から年々申請件数が増えてきました。自民党は、区外からの転入件数が増えていることに鑑み、予算拡充を要望し、実現しました。

区民福祉委員会



樋口敏郎 委員、坂井ひであき 副委員長、田中邦友 委員

高齢者インフルエンザ予防接種の無償化が実現

10月1日からすでに始まっていますが、新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されることから65歳以上の方と生活保護受給者等は自己負担額が今年度は無償となりました。対象者への周知はがきも届いていますのでコロナ禍において、予防接種を忘れずに受けてください。

新型コロナウイルス感染症に特化した検査の強化が実現

自民党として、区内施設へのPCR検査の強化を要望してきましたが、墨田区はクラスター発生防止の支援として独自のPCR検査を実施することとなりました。区内の高齢者施設・福祉施設や医療機関に従事する職員や入所者約3,000人を対象として全額公費負担で検査を受けられるように体制を整えます。新型コロナ対策において今後も自民党が一丸となって取り組んでいきます。



墨田区議会議員 藤崎こうき

一般質問

新型コロナウイルスにおける中小企業支援策について

問 新型コロナウイルスにより、区内中小企業の経営は、大変深刻な状況にあり、この影響は長期化する事が予測される。さらに、感染者をゼロにすることは困難であり、今後は、健康と経済活動のバランスを両立させていくことが求められる。そこで、区として独自の対応を検討する事は必要不可欠であると共に、この難局を打開するためにも、区長が先頭に立ち、明確な方向性を示していくべきだと考えるが、区長の見解を伺う。